



ドキュメンタリー映画「禁じられた大地・フクシマ」上映会&ポトラック

With Café haretoke

(制作：Association GANBALO 監督：栗本一紀)

■ 日時：2013年6月28日（金）19:00～21:30

■ 場所：Café haretoke （ハレとケ）

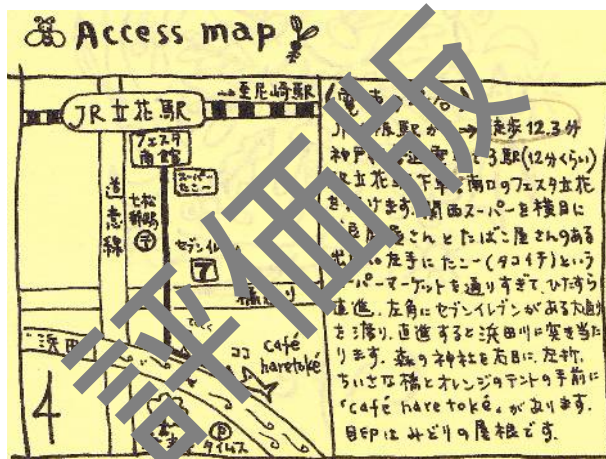
住所：尼崎市南七松町 1-14-17

TEL：06-6430-6217

E-mail：cafeharetok@gmail.com

URL：<http://cafeharetok.jugem.jp/>

JR 神戸線立花駅下車 徒歩 12分ほど



■ 参加費：ドネーション制

お預かりした募金は、しみん基金・こうべ「ずっと・こころ・つなぐ基金」を通じて、東日本大震災の被災者支援を行うボランティア活動への助成金として活用します。

■ 持ち物：自慢の一品、My 食器

■ プログラム：19:00 開会～ポトラック

19:30 ドキュメンタリー映画『禁じられた大地・フクシマ』上映

20:30 語りかえり

21:30 終了予定

■ お申し込み：

お名前、ご連絡先（住所、電話番号又は E-mail）を下記宛に FAX 又は E-mail にてご連絡ください。

■ 主催：特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ、 協力：Café haretoke/ Association GANBALO

■ 協賛：シスメックス株式会社／近畿ろうきん／ボックサン／阪神高齢者障害者支援ネットワーク／被災地 NGO 協働センター



特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ 事務局（江口）

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203

TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

E-mail：kikin@stylebuilt.co.jp HP：<http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

■ しみん基金・こうべ からのご挨拶：

しみん基金・こうべでは、『東日本大震災被災者支援ボランティア活動基金：(愛称) ずっと・こころ・つなぐ基金』を創設し、多くの市民の皆さまからのご寄附を募って、KOBE 発の災害支援ボランティア活動へ助成する事業を行っています。

この作品の上映を通じて、「ずっと・こころ・つなぐ基金」への寄附を募ることと合わせて、被災地から遠く離れていて風化しがちな意識を、映像を通じて振り返り、今感じている想いを共有し、それを KOBE 発の災害支援ボランティア活動団体に託すことで、被災者支援につなげていくことを目指しています。

私たちは、「フクシマ」のおかれている現実をしっかりと見つめていかなければならないのではないのでしょうか？「フクシマ」のおかれている現状の一端をこの映画を観ることを通じて、みなさん同士でも共有できればと思っています。

■ 作品紹介：

この作品は、東日本大震災から一年が経過した 2012 年 3 月制作されました。いまだ放射線の被害に苦しむ福島の人たち取材。原発の町に住んでいた母娘や現役の原発作業員、南相馬市長や元福島県知事などにインタビューを重ね、彼らの静かな怒りや叫び、ためいきやつぶやき、そしてやりきれないほどの無力感と絶望感を克明に記録。人間の尊厳とは何かを問いかける。



■ 監督：栗本一紀氏

海外を中心にドキュメンタリーやニュース映像を取り続けている。東日本大震災後、津波や地震をテーマにしたアニメや短編映画を制作。ノワイ・オーシャン・フィルム・フェスティバルでベスト・アニメーション賞、マルセイユ国際水中映像フェスティバルでの招待上映など多数。本作品は『気球に乗ったオーケストラ』『東北再興の記録 3.11』に続く「東日本大震災・三部作」の最後の長編。

■ 制作：Association GANBALO (代表・富樫一紀氏)

パリ在住の日本人の方が中心になって活動されている東日本大震災の被災者支援団体。この作品などの上映運動などを通じて、ヨーロッパの人たち向けに、東日本大震災でのその後の出来事を知ってもらう活動だけでなく、福島の子どもたちを一時保養のためにパリに招待したり、パリの子供たちに小さな鯉のぼりをつくってもらい福島へ贈る、などの活動を展開されている。



しみん基金・KOBE では、「ずっと・こころ・つなぐ基金」への寄附を募集しています。

ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます